



季節の言の葉こよみプリント【七月】

なまえ

# 文月ふみづき（七月しちがつ）



二十四節気・七十二候

日本の季節を表す言葉です。（\*は七十二候の一部）

七月七日ごろ

小暑しょうしょ（梅雨つゆが明あけて暑あつくなってくるころ）

七月七日ごろ

\* 温風あつかぜ至いたる（あたたかい風かぜがふく）

七月十二日ごろ

\* 蓮始開はすはじめてひらく（はすの花はなが開ひらき始める）

七月十七日ごろ

\* 鷹乃学習たかすなわちわざをまなう（たかが飛とぶことを覚おぼえる）

七月二十三日ごろ

大暑たいしょ（ますます暑あつくなってくるころ）



日本の言の葉

ささの葉は さらさら

のきばに ゆれる

お星ほしさま きらきら

きんぎん すなご

ごしきの たんざく

わたしが かいだ

お星ほしさま きらきら

そらから みる



（文部省唱歌「たなばたさま」権藤はなよ 作詞）

・上の詩を、声に出して読みましょう。  
・次のたんざくに、願いごとを書きましよう。

